



カケハシ・プロジェクト招へいプログラムの記録

対象：沖縄プログラム第1陣（招へい）

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国から高校生及び引率者 50 名が 2018 年 12 月 16 日～12 月 23 日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。講義、視察、日本人との交流などを通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

米国：50 名

（内訳）

グループ A（25 名）：Kamiak High School（ワシントン州）

グループ B（25 名）：Kohala High School（ハワイ州）

【訪問地】

東京都、沖縄県

2. 日程

	グループ A	グループ B
12/16（日）	【来日】	
12/17（月）	【オリエンテーション】 【日本理解講義】 東京都から沖縄県へ移動	
12/18（火）	【文化体験】沖縄空手会館	【視察】首里城
	【視察・講義】平和記念資料館・戦争体験講話・平和記念公園	
	【ホームステイ対面式】那覇国際高等学校	【ホームステイ対面式】向陽高等学校
12/19（水）	【視察】首里城 【文化体験】茶道体験	【学校交流】向陽高等学校
12/20（木）	【学校交流】那覇国際高等学校	【ホームステイ歓送会】
	【ワークショップ（報告会準備）】	【文化体験】沖縄空手会館
	【ホームステイ歓送会】	【ワークショップ（報告会準備）】
12/21（金）	沖縄県から東京都へ移動	

	【成果報告会】
12/22(土)	【視察】江戸東京博物館 【視察】浅草・浅草寺・お台場
12/23(日)	【視察】原宿・明治神宮 【離日】

3. プログラム記録写真

全グループ（東京都）



12/17【日本理解講義】



12/19【成果報告会】

グループA（沖縄県）



12/18【文化体験】沖縄空手会館



12/18【視察・講義】平和祈念公園



12/19【視察】首里城



12/19【文化体験】茶道体験



12/20【学校交流】 那覇国際高等学校



12/20【ホームステイ歓送会】

グループB（沖縄県）



12/18【ホームステイ対面式】向陽高等学校
学校



12/19【学校交流】向陽高等学校



12/20【ホームステイ歓送会】



12/20【文化体験】沖縄空手会館

	
12/20【ワークショップ（報告会準備）】	12/20【文化体験】エイサー

4. 参加者の感想（抜粋）

グループA（訪問地：沖縄県）

◆米国，高校生

講義は非常に感動的でした。講演者の個人的な話は本当に心の琴線に触れるもので、平和がどれほど重要であるかという不変のメッセージを残してくれました。学校交流では、豆腐作りなど様々な活動をし、思い出深いものになりました。高校生たちと話していて、とても自然に彼らと話していることに驚きました。皆とてもフレンドリーで、温かく迎えてくれました。ホームステイでは、はじめは言葉の壁もあり、少し気まずい感じもしましたが、すぐに打ち解けることができ、素晴らしい経験になりました。ホストファミリーに会って、日本語の練習をしながらアメリカのことについて質問に答えるのは楽しい経験でした。

◆米国，高校生

琉球王国の歴史や日本の色々な時代についての概要を学びました。琉球の人たちが今でも他の日本人とは別のアイデンティティを持っているのは、興味深かったです。学校の環境は私が慣れ親しんでいるものとは全く異なるものでした。クラブ活動により重点が置かれ、生徒は皆とてもフレンドリーでした。日本の伝統的な家はその構造面だけでなく文化面でも非常に興味深かったです。家に着いてお土産を渡したら、ホストファミリーは最初にそれをご先祖様にお供えし、その後自分たちのものとして受け取っていました。また沖縄ではお線香を3本立てるけれども他の地域では1本しか立てないと聞きました。また、寝る場所やお風呂もアメリカとは違いました。日本は全体的にとっても便利だと感じました。自動販売機も沢山ありますし、地下鉄、モノレールといった交通システムもよく発達し、日本人の生活に浸透しています。

グループB（訪問地：沖縄県）

◆米国，高校生

ホームステイは、プログラムの中でも特に私の気に入ったものでした。ホストファミリーのお宅に滞在することで、様々な事柄の理解が進みました。なぜなら、ホストファミリーは事あるごとに日本の習慣、文化、価値観について私たちに教えて下さったから

です。たとえば、ご家族は「納豆」の文化的重要性を私に説明して下さいました。更に、私を家族の一員のように扱ってくださり、いつも私のことを優先的に考えてくださったので、ホームステイは心温まるものでした。自分の利害を考えないという無私無欲については、国に持ち帰って自分の生活の中で実践してみたいです。こういった日本人の姿勢を目の当たりにして日本人全体に感謝の念を感じるようになりました。

◆ 米国、高校生

日本人（特に沖縄の人たち）が寛容な人たちであることを知り、とても驚きました。沖縄の人たちは親切で、寛容で、またおもてなしの心にあふれています。日本人の学生は私たちを快く受け入れて下さり、機会があるごとに学校の廊下や教室で話しかけて下さいました。私のホストファミリーは、とても親切で、おもてなしの心があり、優しくかったので、お別れをするのがとても寂しかったです。私は、この経験を決して忘れないと思います。家族や友人に日本での経験を話し、写真を見せたいと思います。プログラムで出会った人たちと連絡を取り合いたいと思います。異文化の人たちと新しい関係を築くことは、素晴らしいことです。常にこの出会いに感謝し、思い出を深く胸に刻もうと思います。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流参加高校生（グループA）

今回、日本では普段普通だと思っていることが、外国では普通ではないということを沢山感じる事ができました。食事の前後に必ず挨拶をするところ、出かける時には「行ってきます」、帰宅した時には「ただいま」というところなど、日本の挨拶の習慣がとても良いということはゲストから指摘されて初めて気づきました。

また、日本では小さい頃に遊ぶ折り紙は、初めて挑戦する外国人にとっては難しいのだということも新しい発見でした。交流をしていく中で、言葉が通じなくて困ったこともあったけれど仲良くなる事ができました。このことから、言葉や文化が違ってもしっかり合えらる感じました。英語力が上がっただけでなく、とても良い経験になりました。

◆ ホストファミリー（グループB）

ハワイの生徒たちは皆さん気さくに話しかけて下さり、楽しくコミュニケーションがとれました。日本の文化を尊重して積極的にお箸に挑戦していて嬉しかったです。

6. 参加者の対外発信

 paninhi Naha, Okinawa ♡ 💬 📌	 jimenezjojo888 Naha, Okinawa ♡ 💬 📌 Liked by _m4rkk and 19 others jimenezjojo888 So much done in such little time, more memories to cherish through the years. I truly am blessed to have been a part of something so great and had fun along the way! #kakehashi2018 #kakehashiproject
(グループ A) 学校交流についての発信 (Instagram) 学校交流でホストの生徒たちと。	(グループ B) 学校交流についての発信 (Instagram) 短い時間でしたが、本当に色々なことを体験しました。これから何年もの間心温まる思い出になると思います。素晴らしいプログラムの一端を分かち合い、楽しめたことに感謝します。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

Our plan

Action Plan Activity #1

Activity	Timeline	Audience	Persons Responsible	How are we going to get it accomplished
Calligraphy Activity Purpose: To educate students on Japanese written language and cultural practice. Participants will create a calligraphy of a significant word.	March 2019	Kohala HS students; grades 9-12	Lehua Jessica Mitchell Mella	1. Buy needed supplies. 2. Prepare individuals responsible for the activity 3. Publicize activity 4. Teach importance of calligraphy in Japanese culture 5. Set up classroom or booth 6. Recruit students to participate in activity and create a final product

アクション・プランの発表（グループ A）
カケハシに参加したメンバーで作成した Facebook のグループアカウントや個々のメンバーの SNS への投稿を通じて仲間に自分達の日本での経験や考えを発信する。

地元 Mukilteo 市議会で私たちの経験を話す。

地元紙 (the Beacon、the Everett Herald) に働きかけて私たちの日本での経験を記事にしてもらう。

アクション・プランの発表（グループ B）
書道体験：日本の書き言葉と文化的慣習について学生に伝える。参加者は、意義ある言葉の書き方（書道）を学び、実践してみる。

文化体験週間：異文化を広めるために、日本と沖縄文化について、発見し考えたことを学生達に伝える。

諮問発表：今回のプログラムの記録や写真を入れたパワーポイントを作成し、参加訪日団のメンバーと共有する。担当になった学生は、文化体験週間で発表を行う。

ビデオ発表：Na Leo テレビ局の担当者にコンタクトし、訪日団メンバーのインタビューを依頼する。日本で撮影した動画や写真も含めたビデオを編集し放送を依頼する。

新聞記事：プログラム関連の記事を掲載してくれる新聞社を探し、記事掲載を依頼する。

ペンパル：訪日団が向陽高校の学生にコンタクトし、双方の学校でカケハシ・プロジェクトに参加できなかった学生達がペンパルになれるように取り計らう。文通を奨励し、異文化交流を図る。

インスタグラム：インスタグラムのアカウントを作成し、写真やコメントを掲載して情報を拡散する。